

「令和 7 年度土木学会全国大会第 80 回年次学術講演会」で講演

戦前から続く、土木学会の全国大会

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションに据える株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）では、大切にしている価値観（バリュー）の一つとして、「品質・技術力で勝る会社になる」を掲げ、社員は自己研鑽に励んでいます。

2025 年 9 月 8 日～12 日に開催された令和 7 年度土木学会全国大会第 80 回年次学術講演会」（主催：公益社団法人土木学会）では、ATK 社員が講演を行いました。概要は以下の通りです。

【デジタルツイン・データプラットフォーム】 高潮・波浪シミュレーションの入力データ自動生成技術とアラート表示手法の開発 戎 健次	近年、異常気象の影響により台風の大型化が進み、高潮や高波による浸水被害のリスクが高まっている。こうした災害リスクを適切に評価するためには、限られたシナリオに依拠する従来手法には限界があり、物理シミュレーションに基づくデジタルツインの活用が有効である。 本研究では、デジタルツインの自動構築を目的として、地形・気象データの取得から解析用ファイルの自動生成までを行うライブラリを開発した。さらに、解析によって得られた潮位データを基に、堤防前面における海面水位の時間変化を連続的に可視化する手法を構築した。
---	--

以上